

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉援助演習Ⅲ		選択	2	4	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
宮澤 江梨子	B313	eriko.miyazawa	木曜日 10:30~12:30		
授業の目的・概要	<p><目的>精神保健福祉援助実習で体験したケースから理論と実践の統合について理解する。また精神保健福祉援助実習で体験した様々なケースから、人権を尊重し高い倫理性と知識、技術を用い、これまで座学で習得した理論と実習で体験した実際の援助技術の統合を図る。</p> <p><概要>精神保健福祉援助実習終了後、集中講義で実施する。授業では、各々が整理した実習中の事例を基に、事例検討、当事者理解、支援計画の作成の三段階で展開する。最後に支援計画の発表を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	実習での事例を事前に整理しておくこと。授業内では積極的に発言し、意見を交わすことが求められる。				
教科書	教科書は指定しない。				
参考書	必要に応じて資料を提示する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉士の活動内容が理解できる。			HSU(2)、WP(5)	
②	精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割が理解できる。			HSU(1)、WP(2)、(3)、(5)	
③	精神障害者の支援計画が作成できる。			HSU(3)、WP(3)、(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業オリエンテーション: 授業概要及び学習方法を理解する。	講義	実習中の事例をまとめる。	4	
2	実習中の事例を整理する①	演習	実習中の事例をまとめる。	4	
3	実習中の事例を整理する②	演習	実習中の事例をまとめる。	4	
4	実習中の事例を整理する③	演習	実習中の事例をまとめる。	4	
5	【事例検討】実習事例の場面や印象を共有する。	演習 グループワーク	事例検討で得た学びや気づきを整理する。	4	
6	【事例検討】ICF の視点で考える①	演習 グループワーク	事例検討で得た学びや気づきを整理する。	4	
7	【事例検討】ICF の視点で考える②	演習 グループワーク	事例検討で得た学びや気づきを整理する。	4	
8	【事例検討】社会資源について整理する①	演習 グループワーク	事例検討で得た学びや気づきを整理する。	4	
9	【事例検討】社会資源について整理する②	演習 グループワーク	事例検討で得た学びや気づきを整理する。	4	
10	【事例検討】ミクロ・メゾ・マクロの視点で考える。	演習 グループワーク	事例検討で得た学びや気づきを整理する。	4	
11	事例を基にした支援計画を作成する①	演習・PBL	支援計画に必要な社会資源等を整理する。	4	
12	事例を基にした支援計画を作成する②	演習・PBL	支援計画に必要な社会資源等を整理する。	4	
13	事例を基にした支援計画を作成する③	演習・PBL	支援計画に必要な社会資源等を整理する。	4	
14	事例の発表を行う	プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備を行う。	4	
15	まとめと振り返りを行う。	講義・演習	総合的な振り返りを行う。	4	
試					

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	30	50	0	20	
総合力指標	知識・技術力	0	10	5	0	0	15
	思考・推論・創造する力	0	10	5	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	10	10	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	実習での体験を基に事例を作成する。そのケースの家族関係、生活歴、支援状況など、事実が整理され、必要な情報がまとめられているか、また支援計画においては、クライアントの生活を尊重することができるかについて評価を行う。				授業中に返却し、フィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	作成した事例を基に、そのケースに対する支援計画をグループで検討し、作成された支援計画について発表を行う。完成した支援計画や発表から、総合的な理解度や達成度を評価する。				15 回目の講義で振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	出席状況や授業への取組みの姿勢、意欲的なグループワークへの参加について評価を行う。				授業内で適宜振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他		精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 実習日誌や実習で配布された資料等を演習に持参すること。 大学が公表している感染症対策及び教員が示す方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない場合がある。 今後、新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってはシラバスが変更される可能性がある。					